



世界報道写真展²⁰¹⁸ WORLD PRESS PHOTO

①	②	
③	④	⑤

記録された瞬間 記憶される永遠

世界中の約100会場で開催される世界最大級の写真展「世界報道写真展」は今年で61回目を迎えます。今回は、125の国と地域から4,548人のフォトグラファーが参加し、73,044点の応募がありました。その中から「現代社会の問題」、「一般ニュース」、「長期取材」、「自然」、「人々」、「スポーツ」、「スポットニュース」、「環境」の部の8部門において、22カ国42人の受賞が決まりました。

「一般ニュースの部」では、イヴォール・プリケットがイスラム国 (ISIS) からのモスル奪還を巡る戦闘に巻き込まれる市民や廃墟と化す街を捉えています。また、「人々の部」ではイスラム過激派「ボコ・ハラム」の誘拐から逃げだし、自爆用の爆弾から免れた少女たちの姿をアダム・ファーガソンが撮影しました。このほか、密猟者からの保護のため自由を脅かされざるを得ない動物、大統領に対するベネズエラでの抗議活動の模様など、世界の「いま」を克明に伝える写真の数々を紹介します。

- ① **世界報道写真大賞 スポットニュースの部 単写真1位**
ロナルド・シュミット AFP通信 2017年5月3日
ベネズエラのカラカスで、ニコラス・マドゥロ大統領への抗議行動中に機動隊との激しい衝突が起こり、火だるまになるデモ参加者。
- ② **自然の部 単写真2位** トマス・P・ベジャク
2017年4月18日
インド洋に浮かぶ南ア領南極地域のマリオン島で、岩に覆われた海岸線を通り抜ける行動でその名にこたえるイワトビペンギン。
- ③ **人々の部 組写真1位** アダム・ファーガソン
ニューヨーク・タイムズに提供 2017年9月21日
ナイジェリアで「ボコ・ハラム」の戦闘員に誘拐された少女の肖像。爆発物を身体に縛りつけられ、自爆するよう命じられたが、逃げ出し、助けを得ることができた。
- ④ **環境の部 単写真1位** ニール・アルドリッジ
2017年9月21日
麻酔をかけられ目隠しをされた若い白サイ。密猟者たちからの保護のために南アフリカからボツワナのオカバンゴデルタに移され、解放されるのを待っている。
- ⑤ **スポーツの部 組写真1位** アラン・シュローダー
レポーターズ 2017年9月24日
インドネシア、スンバワ島の伝統、マエン・ジャラン競馬では、子供の騎手たち(5~10歳)が裸足のまま防具もほとんど付けずに小さな裸馬に乗る。

2 0 1 8 年 関 連 イ ベ ン ト

東日本大震災 報道写真展

8月7日(火)~16日(木)

ハービスHALL 大ホール内 特設会場

朝日新聞の記者が撮影した写真約50点で、震災直後の被災状況とその後の歩みをたどります。



■時間: 11:00~20:00 (入場は19:30まで) ■入場無料
■主催: 朝日新聞社

武内祐人 ライブペインティング

8月12日(土)

ハービスHALL 小ホール

画家の武内祐人氏が「いつも笑顔でありますように」という願いを込めて、笑顔の動物や子供たちを描きます。グッズの販売もいたします。

■時間: 14:00~15:30 (13:00開場)
■入場無料



共
振
×
響
心

ハービスHALL小ホール(ハービスOSAKA地下2階)
2018年8月7日(火)~8月11日(土)
11時~20時(最終日は15時まで) 入場無料
主催: 大阪府 実施団体: 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)
協力: ハービスHALL

